



筑ブ14発第40号

平成15年2月6日

筑後ブロック

各医師会長 殿

筑後ブロック医師会世話人

大牟田医師会

会長 辻 政義

昨夜は遅くまで、貴重な情報や意見を交換し、有意義な会議でした。感謝申し上げます。

3割負担阻止行動については、福岡市医師会竹嶋会長の指示で、2月12日午後1時から2時までの間で、30分程度の街頭広報活動が天神岩田屋前で実施されるそうです。

関原・横倉正副会長には、12日を皮切りに、継続的に天神での情宣活動を行うよう要請しました。本日の理事会で、四師会を含め担当して、天神で情宣を行う組織・団体の計画表を作成し、それぞれに要請するように依頼しました。

割り当て人数は、1日50名以上、白衣着用、継続的に実施とする。
なお、北九・筑後・筑豊の各ブロックの担当日の他に県歯・県薬・県看も担当することなどの行動計画を作成することになるはずです。

筑後ブロック担当日は、改めて追ってお知らせします。12日の実施は、一応中止といたします。

取り急ぎご連絡いたします。

4 15. 2. 6 (木) 朝刊

書

龍

乘斤

厚野

13 S 政治 (4)

「3割負担」与党動揺

医師会、野党と「統一選戦えない」

サラリーマンの医療費自己負担が四月から三割（現行二割）へ引き上げられることに對し、与党内で動搖が広がっている。四月の統一地方選を前に、自民党の支持団体である日本医師会が引き上げを阻止しようとして、野党と連携する構えを示しているからだ。三割負担は、高齢化で膨れあがる医療費に対応するため、患者、医療機関、保険加入者が「三方一兩損」（小泉首相）で負担を分かち合おうと、さきさん議論して合意、決定したにもかかわらず、再び同じ議論が繰り返されようとしている。

民主黨なる野党が、自負相引き上げ問題を争点と位置づけ、与党への攻勢を強めている。野党四党は近く、引き上げを凍結する法案を共同提出する方針で、六日には、反対の急先鋒である日本医師会（日医）

医療費の自己負担割合の引き上げ 病院の

その国長へのアピールを図る。

民衆内では「國民にとつては医療費の問題は非常にかわがかかりやすい話だ。このままですりやすりしたまふのは地方選挙は戦えない」「橋本派幹部」といった危機感も広がりは始めた。

田中負担の引き上げで、國民負担は年間四千億圓増える計算。デフレ不況が深化する中、有権者の大半

をよめるサリリーマンが引き上げの対象となる。消費可能性にも言及した。

税率や医療費自己負担引き上げなどが影響し、九八年の参院選で自民党が惨敗した印象が記憶に新しいといふと答へるにとどめた。

民衆候補の支援を見せる可
能性にも言及した。

山崎氏は「引き上げはす
でに国会で決まったこと
で、凍結は非常に困難だ」
と答へたといふのでした。

自民党厚生族も困惑さ
だ。五日の自民党橋本派の
運営幹事会で、久間章生政
調会長代理が「自己負担引
き上げを凍結しろ」という書
が地方議会や医師会から出
ている」と水を向けると、
厚生族議員の鵜代昭彦衆議
議員や金田勝年・前厚生労
働部会長は「小泉首相が決
めたことだ」「私は引き下
げに反対したが、やはりこ

のようにならなうた」と述べた。

橋本元首相も「いい考え

なんてない。いろいろあるのは決めた当時から見えていた」と語った。

担を分かち合つてゐる」とは避けられない。手延通
り四月から三割負担を招福
にする」と述べ、方針を固
直す考えがないことを改め
て強調した。

た。負担引き上げで、今後五年程度の財政安定を図る狙いからだ。

自己負担引き上げを凍結すれば、来年度予算案の組み替えなどが必要だ。自己負担引き上げを凍結すれば首相にとって「大きな政治的な信用失墜になる」（自民党幹部）とみられる。

丸山小郡三井医師会長
から掲載の情報をいただき
ました。

Figure 1. The location of the study area in the north of Iran.